

今回は、神戸新聞の三好さんに、はがき新聞の書き方を教えていただきました。

はがき新聞の書き方で、一番心に残っているのは、5W1Hの事を調べる事です。私は、5W1Hのいくつかがよく抜けている事が多かったことに気がつきました。授業では、実際に友達とお互いにインタビューをして、はがき新聞にまとめました。友達の頑張っている事を知る事ができて、友達との仲が深まったように感じました。いつも、1分間スピーチを、はがき新聞で書いています。書く事が苦手な私だけど、教えてもらった「はがき新聞」のまとめかたを活用していきたいと思いました。

私は、三好さんの話を聞いて気をつけたいと思った事が2つあります。

1つ目は、インタビューする時は、1つの話題にしぼって話を聞く事。

そして、質問は3つぐらいまでにする事。

2つ目は、5W1Hを使ってまとめるといい事です。

これから、はがき新聞で、1分間スピーチの原稿を書くときに教えてもらったことをいかしたいとおもいます。

三好さんありがとうございました。

私は、今まで「新聞ってけっこうむずかしい世界」
と思っていたけど、三好さんの話を聞いて、私は考
えが変わりました。

はがき新聞を書くところやインタビューする時は、
5W1Hを使うといいことを教えてもらいました。
動画を使って、とてもわかりやすく、楽しく教えて
もらえて良かったです。また学校に教えにきてくだ
さい。ありがとうございました。

今回は、はがき新聞の良さ、はがき新聞を上手に書けるコツなどを教えたいいただきました。

私は、はがき新聞を書くときに、よくみんなと似ている記事を書くことがあります。でも、三好さんにかぶらないようにするには、伝えたい話題を1つにしぼる。5W1Hを意識して記事を書く。見出しなど、ビジュアルを工夫する。これらのことを守っていくと、お友だちとかぶらない記事が書けると思いました。

神戸新聞社の三好さんが「はがき新聞」の書き方のコツなどを教えていただきました。

私が印象に残ったところは、見出しは内容や質問ではなく、「答え」を書くということです。

私は、昨年から続けている、「はがき新聞で1分間スピーチ」の原こうには、見出しに内容を書いて、ただ読むだけと思っていました。でも、はがき新聞はプレゼントのようにわたしたり、送ったりできる良さがあることを知りました。他にも5W1H（いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように）はニュースの基本にで、質問は3つぐらいがいいことも教えていただきました。

そして、三好さんが先生にインタビューをして、短い時間にはがき新聞を書いていたのがすごいと思いました。

私は、これからはがき新聞を書くときは習ったことを思い出しながら書きたいです。

はがき新聞の授業では、5W1H（いつ、どこで、だれが、何を、どのように）やびっくりする見出しを書くことなどを教えていただきました。

私が一番印象に残ったのは見出しに問いやテーマではなく、びっくりする見出し（答えを書く）ということです。私は、はがき新聞の授業をするまでは「目標」や「〇〇県のみりよく」などシンプルな見出しを書いて1分間スピーチのはがき新聞を完成させていたので、はがき新聞の授業を受けてよかったと思いました。私は、三好さんは担任の先生にインタビューをして、はがき新聞を書くまでの時間が短く、すらすら書いていてすごいと思いました。私ももっと上手に書けるようにがんばりたいと思いました。

ありがとうございました。

はがき新聞の書き方を教えてくださってありがとうございました。私は、今回の授業で初めてインタビューをして、はがき新聞を書きました。三好さんに教えてもらった、5 W 1 HのWhen（いつ）、Where（どこで）、Who（だれが）、What(何を)、Why(なぜ)、How（どのように）の5つでインタビューができるのを初めて知ってすごいと思いました。最後のHow（どのように）という言葉を入れるとはがき新聞が書きやすくなるというヒントも教えてもらいました。

そして、三好さんが、先生にインタビューをしていたときに、3つぐらいの質問ではがき新聞を完成させていたのは、すごいと思いました。私もこれから、はがき新聞で1分間スピーチの原こうを書くときは、三好さんに教えてもらった5 W 1 Hを使ってはがき新聞を作っていきたいと思いました。